

# 創刊の辞

モラロジー研究所所長

廣池 千太郎

このたび、『モラロジー研究』という学術誌を発行するのはこびとなりましたことは、まことに慶びにたえません。

本誌発行の目的は、モラロジーの学問的發展のため、日本国内に止まらず、広く世界の大学の研究室、図書館、その他の研究機関にその成果を送付して、諸科学の發展に寄与すると共に、加えて、われわれ自身の実績をも積み上げて行くためであります。

それには、まだ未熟なわれわれにとりまして今後幅広く情報の収集と交換を行ない、関連分野の各専門家諸氏からは、いろいろな学問上の助言と精神的支援、そして、妥協のない学問上の厳しさを教えていただかなければなりません。

一方、私どもとしまして、今日までのモラロジー活動、また、その典拠ともいふべき『道徳科学の論文』（全10冊 3448 ページ）に述べられている問題提出とモラロジーの意図するものが、厳密な意味での学問研究に値いするものであり、また独自の分野と方法論があり得ると、秘かに考えている次第で、これからの研究活動は、本誌の発行と年一回の研究発表会を中心として意欲的に推進して行く所存であります。

終わりに、この『モラロジー研究』の創刊が個人にとっても、団体にとっても、また世界の学界のためにも、十分な意義を持つよう念願して創刊のご挨拶といたします。

1973. 10. 1